

愛史協

愛知県史跡整備市町村協議会 会報 第24号
発行 平成27年3月31日

事務局 豊田市教育委員会 文化財課内
電話 (0565) 32-6561

平成26年度の主な活動は、以下のとおりです。

平成26年度 総 会

平成26年8月6日（水）、知立市（会場：知立市中央公民館）において、愛知県教育委員会生涯学習監を来賓として開催しました（出席者：58名）。議案（第1～6号議案）はいずれも原案のとおり承認されました。議事終了後、「平成27年度県費予算」を企図した愛知県知事・愛知県教育委員会教育長宛の要望事項「平成27年度県費予算に対する要望書」について、愛知県教育委員会生涯学習監を通じて陳情しました。

1 議 案

- 第1号議案 平成25年度事業報告
- 第2号議案 平成25年度決算報告および監査報告
- 第3号議案 平成26年度事業計画（案）
- 第4号議案 平成26年度予算（案）
- 第5号議案 平成27年度県費予算要望事項（案）について

2 協議事項 次年度総会開催地について

平成27年度は津島市での開催が決定

3 講 演

- 講師 神取龍生氏（幸田町教育委員会生涯学習課）
- 演題 「島原藩主深溝松平家墓所の国史跡指定について」



総会 会長挨拶



総会 議事



講演



平成27年度県費予算に対する要望書の陳情

研 修 会

平成 26 年 12 月 2 日（水）、尾張一宮駅前ビル（2 階会議室）にて、「町並み保存の取組」をテーマに以下の事例発表と名古屋工業大学是澤紀子先生にご講演いただき、意見交換会を行いました（出席者 36 名）。

日 時 平成 26 年 12 月 2 日（火）午後 1 時～午後 5 時

内 容 テーマ「町並み保存の取組」

- ・事例発表①一宮市起地区・萩原地区『一宮市における歴史的建造物について』
（発表者）一宮市博物館 副主監・学芸員 神田年浩氏
- ・事例発表② 豊橋市二川地区『二川宿の史跡整備とまちづくり』
（発表者）豊橋市二川宿本陣資料館 主任学芸員 和田実氏
- ・事例発表③ 恵那市岩村地区『岩村町本通り伝統的建造物群保存地区の紹介』
（発表者）恵那市まちづくり推進部文化スポーツ課 統括主査 三宅英機氏
- ・事例発表④ 名古屋市有松地区
『有松町並み保存地区の見直し（伝統的建造物群保存地区制度の導入）について』
（発表者）名古屋市住宅都市局計画部歴史まちづくり推進室 主査 坂崎光恭氏
- ・講演『町並み保存・再生の取組みー景観の背景にある土地性から考える』
（講師）名古屋工業大学 准教授 是澤紀子氏
- ・意見交換会
- ・講評 愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室 室長補佐 小川芳範氏



事例発表①



事例発表②



事例発表③



事例発表④



講演

*各地における伝統的建造物群の保存状況を、歴史的経緯や町並みの特徴、保存活用に向けた取組、条例・補助金制度、直面する課題点などについて、配布資料やプロジェクターを使ってご発表いただきました。

*各事例からは、町並み保存の取組は、個々の建造物を保存活用していく体制づくりだけでなく、将来的なまちづくりを計画していく視点が必要であり、空き家問題、住民の抱える問題（相続、耐震性、老朽化する家に住み続ける大変さ）など、文化財行政だけでは対応しきれない様々な課題に直面していることを知ることができました。

*是澤先生のご講演からは、歴史的建造物のオーセンティシティ、歴史的町並みのインテグリティをどう確保していくのかという町並み「再生」の視点や、指定・登録文化財という個（点）を伝統的建造物群保存地区という（面）的に地域で支え、さらには町並み形成の根幹にある土地性や生活文化を考慮し「文化的景観」により町並みを保存・再生していく、マクロな視点を持つことの重要性をレクチャーいただきました。

*意見交換会では、建造物の修復・保存活用、補助金対応だけでなく、各地区の住民との折衝・調整に昼夜を問わずに駆けずり回り、体制作りに尽力されている担当者のお話をうかがうことができました。

地区協議会

■ 三河地区協議会

平成 27 年 2 月 5 日（木）、西尾市歴史公園尚古荘大広間において開催しました（出席者 18 名）。内容は次のとおりです。

●協議、申し合わせ事項

平成 28 年度県費要望事項及び愛知県史跡マップの作成について ほか

●情報交換「戦争遺跡の保存活用について」

●事例報告「西尾城跡（西尾市歴史公園）の整備について」

（発表者）西尾市教育委員会文化振興課 主任主査 鈴木 とよ江氏

●現地視察「西尾城二之丸広場の整備状況ほかー歴史公園（西尾城跡・尚古荘広間）ー」

（解説者）西尾市教育委員会文化振興課 主事 浅岡 優氏

○ 平成 27 年度は設楽町で開催

*西尾市の司会進行により協議を行い、事前のアンケート調査の結果をもとに、三河地区の各市町村の戦争遺跡に保存活用に関して、次の項目に沿って参加者全員で意見交換をしました。1. 所在する戦争遺跡の種類、2. 文化財指定を含めた保存活用の取り組みと保存活用にあたっての問題点、3. 個人所有地の市町村史跡指定について、日常管理の方法や史跡保護に関わる補助金の交付方法、また公有地化の実施状況、4. そのほかの戦争遺跡に関する取り組み。事例発表・現地視察では、西尾城の整備の経緯・整備内容・現在の課題点・今後の展望についてレクチャーいただきました。

■ 尾張地区協議会

平成 27 年 2 月 18 日（水）、瀬戸市文化センター（22 会議室）において開催しました（出席者 22 名）。内容は次のとおりです。

●協議事項（意見交換）

（1）文化財の総合的把握に関する取り組みについて

（2）文化財保護関連の市民団体の調整について

（3）名木等の調査とその取扱いについて

（4）平成 28 年度県費要望事項及び愛知県史跡マップ作成について

●現地見学会「瀬戸市における史跡整備事例」

塚原第 1 号墳・山口堰堤第 3 号墳・小長曾陶器窯跡、瀬戸蔵ミュージアム

○ 平成 27 年度は長久手市で開催

*協議事項では、豊明市の司会進行により、事前のアンケート調査結果をもとに参加者間で意見交換を行いました。文化財の総合的把握に関する調査はどの自治体も実施しておらず、将来的な検討についてもなかなか対応が難しいという実態でした。文化財・天然記念物の保護については、次世代へどのように継承していくのかという文化財保護行政の本質をふまえた協議の必要性をあらためて感じ、文化財行政を担う一人として情熱を絶やさずに職務にあたっていこうと思いました。現地見学会は、貸切バスにて移動し、瀬戸市の皆様に史跡整備事例をレクチャーいただきました。



三河地区協議会現地視察

事例報告



三河地区協議会現地視察

「西尾城二之丸広場」



尾張地区協議会 協議



尾張地区協議会見学会

「小長曾陶器窯跡」

企画運営委員会

企画運営委員会は規約第 12 条に基づき、本会の事業計画等を策定するための実務担当者会議として設置するものです。平成 26 年度は、総会資料原案を主要議題として会議を 1 回開催したほか、研修会・地区協議会の具体案については E メール等を活用して意見集約・意思決定を行い、議事運営の迅速化・効率化を図りました。このため、会議自体の開催は第 1 回のみとなりました。

◇企画運営委員会構成委員

豊田市（会長）、豊明市・西尾市（副会長）、名古屋市・一宮市・蒲郡市（理事）、美浜町・豊橋市（監事）

◇第 1 回企画運営委員会会議

日 時：平成 26 年 6 月 3 日（火）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

内 容：平成 26 年度の事業活動原案の策定及び実施に向けた検討を行った。

会 場：名古屋市教育館 3 階和室（名古屋市中区錦三丁目 16 番 6 号）

「愛知県史跡マップ」の作成

平成 26 年度の事業として、愛知県史跡マップを作成しました（平成 27 年 3 月 31 日付、約 3 万部発行、各加盟団体へ 800 部ずつ配布予定）。

会報のデジタルデータ化

平成 26 年度事業をまとめた会報『愛史協』第 24 号を PDF データにて作成・発行しました。

加盟団体一覧

尾張地区（22 団体）

名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、知多市、豊明市、愛西市、長久手市、東郷町、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

三河地区（15 団体）

豊橋市、岡崎市、豊川市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、新城市、知立市、田原市、幸田町、みよし市、設楽町、東栄町、豊根村

※加盟団体は、平成 26 年度末の状況です。